

Weekly コラム

令和5年8月8日

〒541-0055 大阪府中央区船場中央 2-1

船場センタービル 4号館 4階

船場経済倶楽部

Tel 06-6261-8000

(NPO 法人 SKC 企業振興連盟協議会) Fax 06-6261-6539

人の輪・衆智・繁栄

活動方針



当団体は、異なる業種の経営者が相集い、力を合わせ、自らの研鑽と親睦を通じて、斬新な経営感覚と新たな販売促進を創造して、メンバー同士でより健全な事業所とその事業所のイメージアップを図り、地域社会に貢献できる事業所となることを目的とする。

禁 利

一般に金利が低下すると、株価は上昇すると言われています。言うまでもなく、企業が資金を借り入れる際のコストとなるのが金利ですので、金利の低下は設備投資などの事業拡大を図り、資金を借りて投資しても利益を出せるケースが増えることとなります。1981年までに16%まで上昇した米国長期国債利回りは、2020年7月末まで39年間低下しました。その間、ドットコム(IT)バブル崩壊や世界的な金融危機、米国価格付けの最上位からの引き下げなど大きな事件がありましたが、おおむね米国の経済は堅調でした。

ところが、39年間続いた長期金利の下落も、昨年からインフレを迎えるにあたり上昇局面に転じてきております。インフレの要因は、コロナ禍を受けてドルのマネタリーベース(市中供給の総量)が5兆ドルを超えたことがひとつ。そしてウクライナ戦争でベルリンの壁崩壊から30年以上続いた東西融合の時代が終わり、安価な一次産品や製品、労働力を得ることが難しくなったから、ということが大きな要因であると思われます。さらにこの39年間で経済成長してきた資本主義国の多くは、低金利が持続することを前提に債務を積み重ねてきました。そんな過剰債務が存在する中で金利が上昇すれば、いずれどうなっていくのでしょうか。

米連邦預金保険公社(FDIC)の22年7~9月期のデータによりますと、米銀が抱える債券に6900億ドル(約90兆円)の含み損を抱えていることが明らかになりました。これは自己資本の約3割に相当する莫大な金額になります。途中売却しない限り損失は表面化しないとは

いえ、総資産23兆ドルの4分の1を占める債権残高の約6兆ドルは償還期限が来るまで、まだ数年間も資金を固定しなければなりません。この間、インフレが激化して預金金利が上昇すれば、銀行は債権の含み損が拡大するだけでなく、資金の運用と調達の間逆ザヤ拡大で途方もない損失を計上してしまう可能性があります。

これまでも資本主義国は、金融危機に見舞われるたびに中央銀行の無制限の国債買い取りなど、本来「禁じ手」にされている方法で、なんとか危機を乗り越えてきました。しかしながら、インフレと金利上昇という新たな危機を迎える今、局面打開のため新たな「禁じ手」に手を染めなければならないのでしょうか。「禁じ手」による利を用いなければ立ち行かないならば、資本主義というシステムそのものに限界が近づいているのではないのでしょうか。



記事の内容に関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

ウィークリーはメールでの配信も行っております。お手数ですが、「メール希望」・「配信停止希望」と件名にご入力の上、

skc-soudan@skc.ne.jp まで空メールをご送信ください。また、FAX ご不要の際は、その旨をお電話にてお申しつけください。